

毎週火曜掲載

公開  
私の実践ノート

⑧

感性刺激「新聞を使う」

宮城県名取北高教諭 大槻 欣史



おつつき・よしふみさん 宮城県名取北高教諭(英語科)。宮城教育大学院修了。日本新聞協会NIEアドバイザー。過去に2度、NIE実践指定校に認定された経験を基に、実践を重ねる。英字新聞も積極的に活用。仙台市在住。

「キャー。その新聞ほしい」という声。嵐の全面広告を扱った授業での一コマ。スーツを着こなし、こちらを見つめるメンバーの上に「嵐」の文字と、その左側に「1999」、右側に「2019」という数字。私は「What does it mean?」と問う。「あつ、20周年」という

声が程なく聞こえてきた。「そう、来年デビュー20周年。では、未来完了形を使って表現してみよう」と授業が始まる。「新聞を読む」というのは「新聞を使う」というスタンスから始めるという意識するのは三つのS。クリスマスを迎えるこの時期、たまたま見かけた(Seeing)インディア小売業の全面広告を見て、自分が買いたい商品を選択(Selection)し、

親にねだるというストーリー

- 授業の振り返り(Minute Papers)で、新聞について生徒が書いた感想
- 1 Minute Papers (Lesson 10 を自己評価しよう！)  
1 自分の理解について、当てはまるものを選んでください。  
① 十分理解できた  
② ある程度理解できた  
③ あまり理解できなかった  
④ 全く理解できなかった
  - 2 一番重要だと思った点は何ですか。  
嵐のデビューが20周年
  - 3 わかりにくかったところはどの点ですか。  
新聞が学習の理解が深まった
  - 4 質問や感想があれば書いて下さい。

(Story)を、動名詞を使って英文文。この三つを意識すると生徒は格段にやる気が出る。教科書で学んだ英文法に命を吹き込む瞬間である。

4コマ漫画も楽しい。因果関係や落ちを考えたり、流れの中で格言・ことわざを学んだり、1コマ1コマをばらばらにしたものを並べ替えながら論理的思考力を鍛える。

写真はイメージ写真をかき立てるのに最適な素材である。「イメージ英文文」では、グループ内で一押しの写真を選び、分詞構文を使いながらストーリーを書く。作品を壁に掲示し、ギャラリウオークしながら付箋にコメントを書いて貼り付ける。

旬の人物や出来事を扱った「本物」を教室に持ち込み、自発的に学んでいくことは、生徒の感性をゆさぶり、興味・関心を無限に広げる。時事問題に無関心では生きていけない時代だからこそ、世の中の動きを知る身近なツールとして、新聞の役割はますます重要である。また、そういう機会をさりげなく提供するの

が教師の役目である。

◇ NIEを実践している教員やNIEアドバイザーに、自分だけの方法を公開してもらいます。NIEがぐっと身近になります。各月第一週に掲載します。次回は1月8日。



イメージ英文文に使う囲み記事を選んでいる生徒

授業の振り返り(Minute Papers)で、新聞について生徒が書いた感想

が教師の役目である。

◇ NIEを実践している教員やNIEアドバイザーに、自分だけの方法を公開してもらいます。NIEがぐっと身近になります。各月第一週に掲載します。次回は1月8日。

に新聞を